

長野県医労連情報

長野県医療労働組合連合会

No 18

2014年 6月30日

TEL 026-228-9376

FAX 026-224-5745

E-mail: irouren-nagano@nifty.com

----- 医療労働者の生活と権利 県民のいのちと健康を守ろう -----

労働組合の重要性を知った

青年学習交流集会「ブラック企業」今野氏講演



6月21日(土)長野県医労連青年部は「青年学習交流集会」を松本市浅間温泉・地本屋で開催。41名が参加しました。学習講演は流行語大賞にも選ばれた「ブラック企業」の著者、今野晴貴氏(NPO法人POSSE代表)。今野さんはブラック企業の定義として「正社員の問題である」「労務管理戦略として使い潰しをする」「大企業で行われている」などをあげました。「違法行為を行っている会社」という誤解もありますが、法の枠内で巧妙に行っているのが特徴です。「固定残業制」「管理監督者」と称して長時間残業を隠したり、「カウンセリング」と称した面接で「自己都合退職」に追い込んだり。某有名企業の”オフレコ”での話しはとてモリアルでした。共通点は「労使関係」がなく労組が組織されていないこと。今野さんは講演の中で繰り返し労働組合の役割と重要性を説きました。講演をうけて「自分の職場はブラックか?」と討論。「ブラック企業とはいえないが、サービス残業や問題はあある」「日頃の思いを言えた」など感想がだされました。

【感想文】

- ・規制緩和→ブラック企業が減るというのは間違った認識でした。私も残業は多いですが、サービス残業ばかりであったり、1日3H以上残業を強いられている人が沢山いることも知り驚きでした。(飯田民医労：女性)
- ・ブラック企業は景気動向の問題とっていたので、(労務管理)戦略の一部で行われているということを知って驚いた。利益が出ても続いていく戦略だということに悲しいと思った。(飯田民医労：女性)
- ・強烈で目が覚めるような講演だった。大学の時は「圧迫面接」の練習で泣いたりしたので就活の雰囲気思い出した。今野さんが怒っていて、苦しい思いのそばにいる人の本当の怒りってこれだと思った。(後略)(中信民医労：女性)
- ・自分が知らないことだらけだった。「ブラック企業」という言葉は聞いたことがあったが、こんなにも大企業が堂々で行っていることを知りとても驚いた。これから世の中を担っていく若者世代がもっと学び、このような体制を問題だと捉えていかなければならないと感じた。組合の力がとても大きいと改めて思った。(長厚労佐久：女性)
- ・他の事業所、組合の人と交流できてよかった。(ほぼ全員)

